

美ら海の産業と環境の 調和を科学の力で

— 陸 - 沿岸 - 海洋研究の最前線 —

リアル会場と
オンラインで

ハイブリッド
開催

2023年

3/30 金

講演プログラム

- 亜熱帯島嶼の水循環研究
— 持続可能な水資源利用を目指して —
…………… 安元 純 (琉球大学 農学部)
- 陸域由来のリン酸塩がサンゴに及ぼす
影響の解明
…………… 飯島 真理子 (産総研 地質調査総合センター)
- 長期サンゴ礁研究と今後に向けたメッセージ
…………… 酒井 一彦 (琉球大学 熱帯生物圏研究センター)
- リン枯渇生態系の戦略
…………… 鈴木 昌弘 (産総研 エネルギー・環境領域)
- 遺伝子解析で沖縄島沿岸の生物多様性を俯瞰し
統合解析を行う先に何が見えるか
…………… 井口 亮 (産総研 地質調査総合センター)
- 衛星リモートセンシングを使った
沿岸生態系評価技術の開発に向けた取り組み
…………… 山本 聡 (産総研 地質調査総合センター)
- サンゴ生育のカギとなる
海水中リン酸塩の分析信頼性の向上に向けて
…………… チョン 千香子 (産総研 計量標準総合センター)
- 研究成果の社会実装による産業と環境の調和に向けて
— 金融サイドからのイノベーション実現に向けたアプローチ —
…………… 浮辺雅宏 (日本政策投資銀行)

事前登録、
講演の詳細は **ウェブ**で

[https://www.gsj.jp/researches/
gsj-symposium/sympo39/](https://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo39/)



※ポスターセッションはオンライン対象外

お問い合わせ

地質調査総合センター 第39回 GSI シンポジウム事務局
✉ M-gsj-symposium39-ml@aist.go.jp
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

会場：沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）
博物館 講堂（沖縄県那覇市おもろまち 3 丁目 1-1）

日時：2023年3月3日（金）
10時～16時50分（受付開始9時30分）


定員：会場 100名＋オンライン 1000名
CPD：5単位（現地開催のみ）

事前登録制

参加費無料

主催： 国立研究開発法人
産業技術総合研究所
地質調査総合センター

共催：産総研 エネルギー・環境領域、
産総研 計量標準総合センター、
株式会社 日本政策投資銀行

後援： 国立大学法人
琉球大学、
一般社団法人
沖縄海底資源産業開発機構